

南国のクリスマス

甘い歌声のメロディーに乗せてビング・クロスビーの「ホワイトクリスマス」が好きだ。雪に包まれた夜をロマンティックに過ごす。夢見る素敵な世界である。12月に入るとクリスマスソングが街のあちこちから聞こえてくる。もともとキリスト教徒の行事であるが、宗派に関係なく日本では多様なクリスマスが定着している。我が家では娘4人でクリスマスケーキを食べる日。また幼稚園では楽しい行事が企画されプレゼントを貰ったりもする。

マレーシアはイスラム教が国教となっている。しかしヒンズー教、キリスト教、仏教等の宗教を持つ人もいる。それは多民族国家（マレー系 65%、華人系 26%、インド系 7.7%）であるからだ。しかしクリスマスの12月25日は国民の祝日となっている。ここに多民族、多宗教、多文化が見事に共生する国家となっている。マレーシアはそれぞれの文化と伝統を尊重し合う国民性が出来上がっている素晴らしい国のように思えた。



南国マレーシアのショッピング街やホテルでクリスマスのデコレーションは派手に飾られていた。クアラルンプールの繁華街の駅を降りるとそこはクリスマスであった。吹き抜けのショッピングモールの広場には、サンタクロースとトナカイに引かれたソリならぬ車に乗って雪が舞う中を走っていく。この国の人にとってクリスマスのイルミネーションやデコレーションは、販売促進の為であるようだが一つの夢・あこがれがあるように見えた。

撮影 2014 年秋

